



題 字  
初代会長 松野 盛吉  
定 価 1部 48円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 中田 潤  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

# 第七〇期初任教育入校式

## 七〇名が新たな一歩を踏み出す

### 秋田県消防学校



秋田県消防学校の初任教育第七〇期入校式が四月八日(金)、県内一三消防本部から七〇名の入校生並びに来賓、家族など二二〇名が出席し、同校屋内訓練場で行われました。

入校式では、国歌斉唱の後入校生の名前が一人ひとり読み上げられ、鈴木嘉司憲校長が式辞を述べました。

続いて、佐々木司秋田県総務部危機管理監、中田潤秋田県消防協会会長、佐藤好幸秋田県消防長会長(秋田市消防長)が入校生を激励、入校生を代表して横手市消防本部の神原望消防士が宣誓を行いました。

入校生は、九月一六日(金)までの約半年間、寮での共同生活を送りながら、消防全般にわたる基礎的知識と技術の修得、厳正な規律、旺盛な気力と体力の錬成などの教育訓練を受け、警防隊員として活動できる能力を養成することになります。

平成二十八年度全国統一防火標語  
消しましょう  
その火その時  
その場所で

今年度も女性消防士六名が入校し、これで九年連続の三七名となりました。

## 校長式辞(要約)

消防士として、新たな一歩を踏み出しました皆さんのご入校を、教職員一同心から歓迎いたします。

さて、火災や事故の発生は多様化・複雑化しております。また、気候変動により頻繁に発生している豪雨災害や、東日本大震災のような、大規模な自然災害の発生も懸念されております。どのような状況下であろうとも、消防の任務は、安全・安心を確保することにあります。

それだけに、消防に対する住民の期待は実に大きく、消防職員には、火災や救急に止まらず、各種の自然災害、大規模災害等への迅速的確な対応が求められます。

そうした過酷な災害現場で活動するためには、健康であることに加え、逆境に耐えうる精神力や忍耐力が必要であり、様々な技術や訓練を体得しなければなりません。

ここでの教育訓練においては、危険回避や注意喚起のため、教官が厳しく指導することがあります。学生諸君、どうか怯むことなく強い信念を持って、必要な知識や技術の修得に全力で臨んでください。

## 入校生宣誓(全文)

私は、初任教育、第七〇期学生として入校の意義と消防の責務を自覚し、校則を守り、和を尊び、規律ある学校生活を通じて、勉学研修に励み、消防職員として地域住民の信頼に値する人格陶冶につとめることを誓います。

平成二八年四月八日

横手市消防本部  
消防士 神原 望



鈴木校長



入校生宣誓

初任教育第70期 入校生名簿

【1組】

秋田市消防本部

高橋博康 大野真  
千田駿弥 佐藤威流  
瀧澤泰彦 長瀬翔

大館市消防本部

虻川俊貴 高橋侑宏

北秋田市消防本部

石川功太

由利本荘市消防本部

岡本大 大友峻真  
佐藤雄飛

にかほ市消防本部

柴田悠真 菊地祐至

横手市消防本部

神原望 貴俵大地

五城目町消防本部

雄鹿柚生

鹿角広域行政組合消防本部

阿部紘二郎

能代山本広域市町村圏組合消防本部

清水裕太 中西啓太  
福司慎也 児玉儀仁

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

藤原潤 杉本朋夏

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

佐々木将吾 石川晃貴  
舩谷祐理 石田彩茄  
進藤弘将 大石海斗  
高橋奎人 戸澤魁李  
田口雄大

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

加藤秀之 丹咲乃

【2組】

秋田市消防本部

小野寺亮太 佐々木寛紀  
保坂啓吾 澤木大樹  
佐藤聖華 竹中涼将

大館市消防本部

小玉邑

北秋田市消防本部

大川翔平 佐藤友希

由利本荘市消防本部

遠藤知晃 新田裕士  
眞坂哲

にかほ市消防本部

宮崎太郎

横手市消防本部

高橋友恵 佐々木昌太

五城目町消防本部

福島良磨

鹿角広域行政組合消防本部

金澤直大 阿部理紀也

能代山本広域市町村圏組合消防本部

赤塚竜太郎 遠藤竜希  
畠山孔明 田中眞美

湖東地区行政一部事務組合消防本部

白川雅寛

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

遠藤直 中山尚樹

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

藤井元規 黒丸歩  
佐藤玲 高木柁輔  
佐々木克樹 坂本直潔  
町田杜生 住吉佑斗

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

佐藤拓真 高橋空大



中田消防協会長



佐藤消防協会長

秋田県消防学校職員名簿

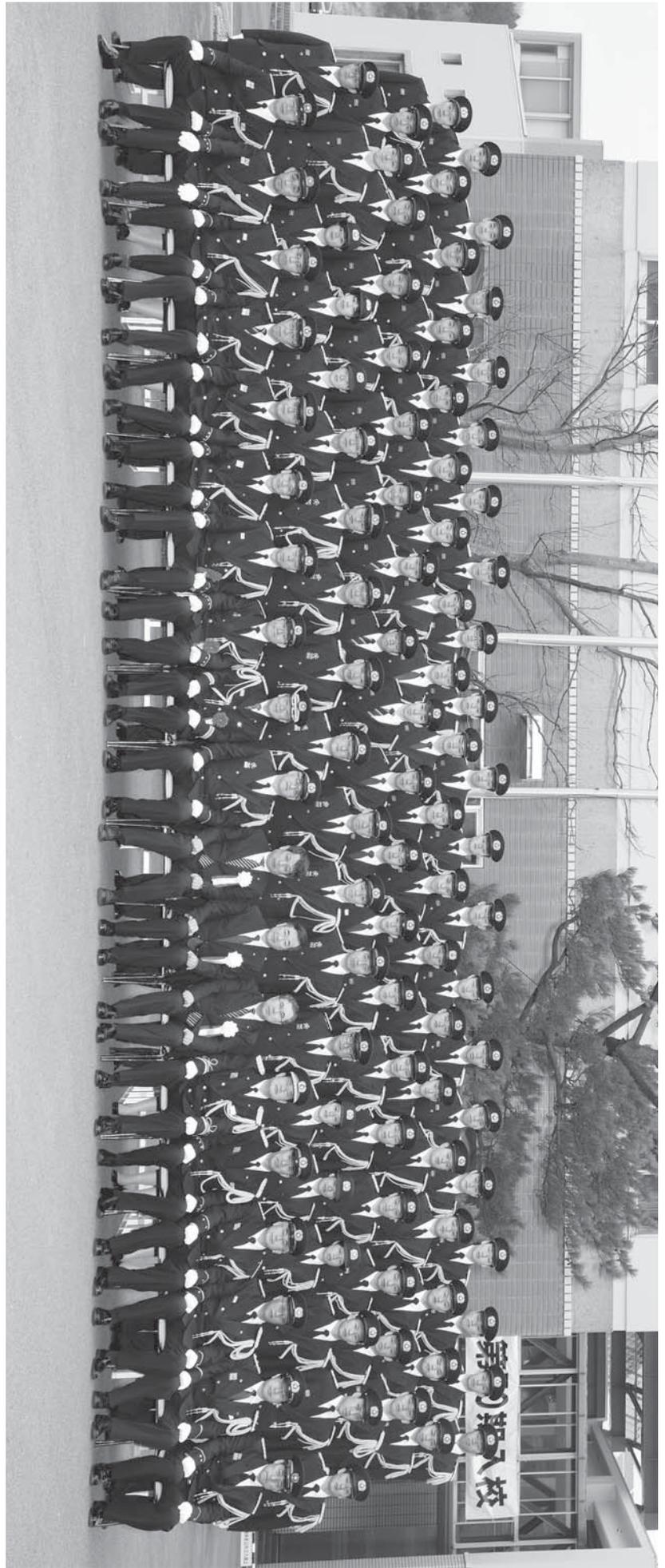
校長 鈴木嘉司憲  
副校長 伊藤博之

総務班

主幹・班長 大高直樹  
主査 佐藤弘康  
主任 本間律子  
技能主任 篠田均  
舎監 長谷部寿二  
舎監 猪股秀二  
防災学習館説明員 高橋博  
佐藤伸  
佐々木千穂

教務班

副主幹・班長 大野光徳  
副主幹 伊藤均一  
副主幹 佐藤和則  
副主幹 小笠原伸一  
副主幹 佐藤均英  
副主幹 池田敏樹  
講師 大澤善一  
講師 樋渡統一



### 秋 田 県 消 防 学 校 平 成 28 年 度 教 育 訓 練 計 画

秋田県消防学校では、消防団員を対象とした教育訓練を行っています。そのうち基礎教育第62期、幹部教育指揮幹部科分団指揮課程第3期の実施要領を紹介しますので、参考にいただき、多くの団員が受講されることを期待しております。

なお、受講希望者は市町村消防団係にお問い合わせ下さい。

基礎教育第62期		教育課程	幹部教育指揮幹部科分団指揮課程第3期	
入団して概ね3年未満の消防団員に対して、基礎的教育を行う。		目的	分団の指揮者としての職責を自覚させ、消防団の管理運営等、広い知識を持たせる。	
団員の階級にある者		対象者	分団長、副分団長の階級にある者	
平成29年3月11日(土)~12日(日)		教育期間	平成29年3月4日(土)~5日(日)	
教科目 (教育内容)	時間数	教科目及び時間数	教科目 (教育内容)	時間数
訓練礼式 (各個訓練、小隊訓練、通常点検要領)	2		講話 (職責と心構え)	1
組織制度 (消防団の組織制度)	1		防災 (災害基本法と消防団の役割等)	4
ポンプ操法 (消防ポンプ操法)	2		安全管理、組織制度 (公務災害補償制度の概要、消防団組織の現況等)	1
火災防ぎよ・安全管理 (火災防ぎよ、安全対策)	2		災害対応図上訓練 (分団本部活動・管理運営要領、部隊等の安全管理等)	4
防災 (災害対策)	1		事例研究 (消防団の充実強化及び活性化事例等)	1
救急救助 (応急手当、基本結索)	2		行事その他 (入校式、修了式等)	1
行事その他 (入校式、修了式等)	2		計	12
計	12			

### 教 育 訓 練 計 画 (総括表)

教育課程		教育実施期間		入校対象者	
		日数	時期		
消 防 職 員	初 任 教 育	164	H28.4.6~H28.9.16	新たに採用された消防職員	
	科 教 育	警 防 科	12	H28.9.26~H28.10.7	警防業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
		特 殊 災 害 科	9	H28.11.10~H28.11.18	警防及び救助業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防士長以上の階級にある者
		予 防 査 察 科	12	H28.11.28~H28.12.9	予防業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
		火 災 調 査 科	12	H28.10.17~H28.10.28	火災調査業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
		救 急 科	50	H29.1.10~H29.2.28	救急業務に従事しようとする者
		救 助 科	29	H28.9.29~H28.10.27	35歳以下の救助業務に耐えうる体力を有している者
	幹 部 教 育	9	H28.7.25~H28.8.2	55歳以下の消防司令以上の階級にある者	
	特 別 教 育	消防操法指導員講習	3	H28.5.10~H28.5.12	消防士長以上の階級で、訓練礼式・消防操法を担当する者
		救急特別講習	3	H28.12.7~H28.12.9	救急救命士養成所への入所予定者
ビデオ喉頭鏡追加講習		1	H28.11.10~H28.11.10	平成26年度以前に救急救命士資格を取得した者	
処置拡大追加講習		3	H28.11.30~H28.12.2	薬剤投与認定救急救命士	
消 防 団 員	基 礎 教 育	2	H29.3.11~H29.3.12	団員の階級にある者	
	幹 部 教 育 指 揮 幹 部 科 分 団 指 揮 課 程	2	H29.3.4~H29.3.5	分団長、副分団長の階級にある者	
	特 別 教 育	女性消防団員教育	2	H28.10.29~H28.10.30	秋田県消防協会の推薦による女性団員
		日消指導員教育	2	H28.11.26~H28.11.27	団員の教育訓練を担当する者
		現 地 教 育	(内容・時間数について、地域の実情を勘案して実施)		市町村長等の推薦による団員
		一 日 入 校 教 育	(内容・時間数について、要望を勘案して実施)		市町村長等の推薦による団員
そ の 他	そ の 他 入 校 教 育	(内容・時間数について、要望を勘案して実施)		各種団体等の要請による	

# 平成二八年 春 の 叙 勲 第二六回 危険業務従事者叙勲

平成二八年春の叙勲及び第二六回危険業務従事者叙勲の受章者が発表され、消防関係の本県受章者は叙勲二〇名、危険業務従事者叙勲一〇名の方が受章されました。  
誠におめでとうございます。  
(記載は五十音順)

## 平成二八年 春 の 叙 勲

### ◆瑞宝双光章(一名)

元由利本荘市消防団

団 長 今 野 忠 男

### ◆瑞宝单光章(一九名)

元横手市横手消防団

団 長 泉 信 一

元西木村消防団

分 団 長 糸 井 伊 一

元井川町消防団

副 団 長 伊 藤 一 義

元秋田市消防団

副 団 長 伊 藤 良 太 郎

元横手市消防団

分 団 長 落 合 猛

元北秋田市消防団

副 団 長 菊 地 忠 雄

元田沢湖町消防団

分 団 長 小 玉 兼 治

元にかほ市消防団

団 長 佐 藤 勝 男

元湯沢市消防団

分 団 長 澁 谷 顯 一

元秋田市消防団

分 団 長 鈴 木 嘉 廣

元森吉町消防団

分 団 長 鈴 木 隆 一

元二ツ井町消防団

分 団 長 高 橋 要 三

元大館市消防団

分 団 長 富 樫 曉

元森吉町消防団

分 団 長 奈 良 義 勝

元鷹巣町消防団

分 団 長 成 田 金 正

元湯沢市消防団

分 団 長 新 田 庄 一 郎

元大館市消防団

分 団 長 畠 山 米 藏

元湯沢市消防団

副 団 長 由 利 長 一

元北秋田市消防団

団 長 吉 田 嘉 隆

### 第二六回 危険業務従事者叙勲

#### ◆瑞宝双光章(八名)

元能代山本広域市町村圏組合消防本部

消防司令長 泉 谷 明

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

消防司令長 伊 東 雄 一

元五城目町消防本部

消防司令長 金 子 久 孝

元男鹿地区消防一部事務組合消防本部

消 防 監 近 藤 利 藏

元横手市消防本部

消防司令長 東 海 林 隆

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

消防司令長 菅 原 信 太 郎

元横手市消防本部

消防司令長 杉 村 稔

元鹿角広域行政組合消防本部

消防司令長 奈 良 俊 幸

#### ◆瑞宝单光章(二名)

元湖東地区行政一部事務組合消防本部

消防司令 伊 藤 勝

元湖東地区行政一部事務組合消防本部

消防司令 三 浦 正 雄

### 新消防長紹介



秋田市消防本部

佐 藤 好 幸



大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

森 川 正 明



北秋田市消防本部

中 嶋 誠



にかほ市消防本部

伊 藤 伸 司



五城目町消防本部

伊 藤 豊



鹿角広域行政組合消防本部

秋 元 英 俊

### 新消防団長紹介



鹿角市消防団

児 玉 誠 喜



男鹿市消防団

畠 山 隆 一



にかほ市消防団

佐 々 木 伸 一



横手市山内消防団

藤 原 博

## 消防団員を募集しています

自分のまちを災害から守り、まちの安全と安心をつくる消防団員を募集しています。

消防団員を募集している消防団は次のとおりですが、その数や応募条件は平成28年4月時点のものです。

詳細については、市町村の消防担当課または消防本部にお問い合わせ下さい。

多くの方の応募をお待ちしております。

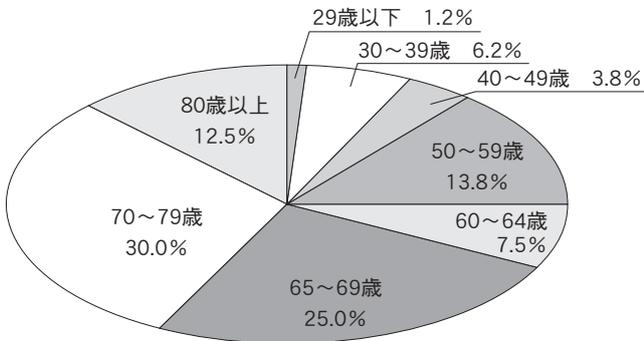
消防団名	募集団員数 (人)			応募の条件		問い合わせ先	
	総数	男性	女性	現住所・勤務地	年齢	課所名	電話番号
鹿角市	38	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0186-23-5601
小坂町	20	性別は不問		当町に居住又は勤務	18歳以上	町民課	0186-29-3928
大館市	88	85	3	当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0186-43-4152
北秋田市	99	性別は不問		当市に居住する者	18歳以上	消防本部	0186-62-1119
上小阿仁村	29	29	0	当村に居住又は勤務	18歳以上	住民福祉課	0186-77-2222
能代市	100	性別は不問		当市に在住する者	18～64歳	能代消防署	0185-52-3311
藤里町	8	8	0	当町に居住する者	18～59歳	生活環境課	0185-79-2115
三種町	47	性別は不問		当町に居住又は勤務	18歳以上	町民生活課	0185-85-4823
八峰町	34	性別は不問		当町に居住する者	18歳以上	総務課	0185-76-4601
男鹿市	86	性別は不問		当市に居住する者	18～70歳	総務課	0185-24-9113
潟上市	20	性別は不問		当市に居住又は勤務	18～49歳	総務課	018-853-5301
五城目町	64	性別は不問		当町に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	018-852-2028
八郎潟町	3	性別は不問		当町に居住又は勤務	18～65歳	町民課	018-875-5806
井川町	22	22	0	当町に居住する者	18歳以上	町民課	018-874-4416
大潟村	7	性別は不問		当村に居住又は勤務	18歳以上	住民生活課	0185-45-2114
秋田市	185	性別は不問		当市に居住する者	18～50歳	消防本部	018-823-4000
由利本荘市	130	115	15	当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0184-22-4282
にかほ市	3	2	1	当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0184-38-2311
大仙市	89	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	総合防災課	0187-63-1111
仙北市	140	性別は不問		当市に居住する者	18～65歳	総合防災課	0187-43-1115
美郷町	91	91	0	当町に居住する者	18～55歳	住民生活課	0187-84-4903
横手市横手	45	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	横手地域課	0182-32-2701
横手市増田	9	9	0	当市に居住又は勤務	18歳以上	増田地域課	0182-45-5510
横手市平鹿	54	41	13	当市に居住又は勤務	18歳以上	平鹿地域課	0182-24-1111
横手市雄物川	50	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	雄物川地域課	0182-22-2111
横手市大森	20	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	大森地域課	0182-26-2111
横手市十文字	45	45	0	当市に居住又は勤務	18歳以上	十文字地域課	0182-42-5111
横手市山内	10	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	山内地域課	0182-53-2111
横手市大雄	19	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	大雄地域課	0182-52-2111
湯沢市	30	性別は不問		当市に居住する者	18歳以上	総務課	0183-73-2112
羽後町	72	72	0	当町に居住する者	18～59歳	生活環境課	0183-62-2111
東成瀬村	35	性別は不問		当村に居住又は勤務	18歳以上	民生課	0182-47-3403

山岳遭難事故の発生状況

		H24	H25	H26	H27
合 計	件 数	89	70	67	67
	遭難者数	103	93	87	80
	うち死亡	14	9	14	9
登 山	件 数	7	10	18	19
	遭難者数	7	11	33	22
	うち死亡	2	1	3	-
山菜取り	件 数	57	29	32	31
	遭難者数	63	41	36	35
	うち死亡	4	2	5	2
きのこ 取 り	件 数	16	15	11	14
	遭難者数	16	18	12	19
	うち死亡	4	-	5	4
そ の 他	件 数	9	16	6	3
	遭難者数	17	23	6	4
	うち死亡	4	6	1	3

\* 「その他」は森林伐採、溪流釣り等の事故

平成27年山岳遭難 年代別発生状況



消防 半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
消防被服全般  
秋 田 県 代 理 店

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

秋田県山岳遭難  
防止対策協議会

山菜採りが遭難の四六%を占める

平成二八年度秋田県山岳遭難防止  
対策協議会(会長・堀井啓一秋田県  
副知事)総会が四月二二日(金)、秋  
田県庁第二庁舎で開催され、平成二  
七年山岳遭難事故発生状況の報告な  
どが行われました。

山岳遭難事故報告によると、発生  
件数は六七件、うち山菜採りが三一  
件で四六%を占め、遭難者数は八〇  
人、うち六五歳以上の高齢者は五四  
人で六八%となっております。

入山者の皆さんへ

山菜採りに行くときの注意・装備品の注意

- ①一人で山には入らないで、家族(又は知人)に行き先を告げる
- ②自分の体力、体調にあった行動をとる
- ③知らない山には入らない
- ④天気予報・気象情報を確認してから出かける
- ⑤予備の食糧、雨具、着替え、ライター、熊鈴、ラジオ、笛などを持つ
- ⑥携帯電話(電波の届く場所を確認する)
- ⑦服装、所持品は目立つ色にしましょう
  - ・自然界に無い色の物を着用・持参しましょう
  - ・搜索する側から目立つ色は白色
  - ・白いタオルを持参して入山して下さい

入山の注意・登山の注意

- ①声を掛け合い、お互いの居場所を確認して同行者と離れない
- ②方向を見失わないようにする
- ③無理をせず早めに切り上げ、明るいうちに下山する

もし、迷ってしまったら

- ①むやみに歩き回らない  
(沢や崖などに転落してしまう場合があります)
- ②雨風を防げる場所で救助を待つ
- ③明るくなったら見通しの良い場所に出て、救助を待つ
- ④搜索のヘリコプターを見つけたら、見通しの良い場所に移動して、目立つ色の着衣、雨具、タオル等を振って自分の居場所を知らせる

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース  
トーハツポンプ | シバウラポンプ  
各種消防機械器具 | 各種消火器  
消防設備保守点検

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)

支部情報アラカルト

『消防フェア』を開催しました

Ⅱ大曲仙北広域消防本部Ⅱ

平成二八年春の火災予防運動初日に、大型ショッピングセンターの協力により『消防フェア』を開催しました。子供向けの音楽と、消防職員が扮するかわいい猫ちゃんやパンダさんからの風船のプレゼントに誘われて、買い物に訪れた多くの親子連れで賑わいました。



「消防ちびっこ広場」では、消防の制服や防火服に着替えた子供たちが、梯子車や救助工作車、救急車に乗車して記念撮影を行いました。



「体験コーナー」では、水消火器や消防ポンプ車のホースで放水体験、煙体験ハウスによる濃煙内での避難を体験していただきました。

「住宅防火ブース」では、住宅用火災警報器のパネルを展示し、点検方法の説明や住宅用消火器、防災ハンズブック等のパンフレットを配布し、家庭における防火・防災意識の普及啓発を図りました。



〔情報提供Ⅱ大曲仙北広域消防本部〕

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成28年		平成27年			同期比較	
	4月	累計	4月	累計	年計	4月	累計
建 物	23	80	18	77	211	5	3
林 野	7	10	13	14	34	- 6	- 4
車 輛	6	12	2	13	45	4	- 1
その他	22	28	14	20	83	8	8
合 計	58	130	47	124	373	11	6
死 者 数	2	11	3	18	40	- 1	- 7
負傷者数	3	19	8	44	86	- 5	-25

第69回秋田県消防大会

(能代市山本郡支部)開催のお知らせ

消防団員意見発表のほか、アトラクションもあります。

地域の方々も是非お出掛け下さい。

開催月日 平成28年6月18日(土)  
午後1時から

開催場所 能代市追分町4-26  
「能代市文化会館」

モリタ消防ポンプ  
桜ホース・ソフト吸管  
各種消火器

シバラポンプ  
消防被服一式  
消防機器一式

株式会社 能代消防センター  
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57  
TEL (0185) (52) 6494  
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

設 備  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)  
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651